



令和元年 8月22日(木)

国土交通省 関東地方整備局

河川部

記者発表資料

河川工事(河川・ダム・砂防)“ナマ”現場写真コンテスト

～工事現場の瞬間の『記録と記憶』の1枚募集開始～

河川・ダム・砂防工事は、普段の生活の場から離れた場所での工事が多く、人知れず工事が行われていることや工事の様子についても人目に触れることが少ないことから、日頃見ることが出来ない河川工事現場の写真を工事現場に携わる方より募集します。

河川・ダム・砂防工事の今しか見ることの出来ない状況を、今、見せる・見て欲しい写真として、現場の技術者の目線で写真撮影を行い、その撮影写真を募集します。優秀な作品については、河川工事の広報に活用し、広く皆さまへの河川工事への理解や興味を持っていただくことを目的としています。

- 撮影写真のテーマ：技術者目線の「現場一番の“ウリ”」写真
- 応募対象者：国土交通省が施行する河川工事(河川・ダム・砂防)に携わる者が撮影した写真
- 募集期間：令和元年9月～令和2年2月10日
- 作品への賞：優秀な作品には賞を授与します
- 作品の展示：令和2年3月以降、関東地方整備局内を含む様々な場所への掲示を行うとともに、関東地方整備局HPに掲載予定

※詳細につきましては、別紙をご参照ください。

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会 埼玉県政記者クラブ
茨城県政記者クラブ 栃木県政記者クラブ 刀水クラブ・テレビ記者会
千葉県政記者会 都庁記者クラブ 神奈川県政記者クラブ
山梨県政記者クラブ

問い合わせ先

関東地方整備局 河川部 河川工事課

住所: 埼玉県さいたま市中央区新都心 2-1 さいたま新都心合同庁舎 2号館

担当: 河川工事課課長 みやざき かずゆき 宮崎 和幸(内線 3711) 補佐 こじま ひろかず 小島 宏一(内線 3714)

電話: 048-601-3151(代表) 048-600-1337(直通)

河川工事（河川・ダム・砂防）“ナマ”現場写真コンテスト － 応募要領（令和元年度） －

1. 内容

日頃見ることの出来ない河川工事現場の写真を～工事現場の瞬間『記録と記憶』の1枚～として、工事現場に携わる方より募集します。

優秀な作品は、事務所長より表彰を授与します。また、それらの作品は河川工事の広報に活用し、広く皆さまに河川工事への理解や興味を持っていただくことを目的としています。

2. 募集テーマ

河川工事（河川・ダム・砂防）現場において、工事施工中の今しか見ることの出来ない「現場一番の“ウリ”」の写真。

【例】

- ①仮設物：工夫を凝らした仮設物、滅多にお目にかかれない仮設物など
- ②建設機械：珍しい機械、新技術を活用した機械など
- ③建設資材：珍しい資材、完成後では見られない資材など
- ④働く人：生き活きと働く人、現場で働く女性など
- ⑤安全管理：工夫を凝らした安全施設など
- ⑥景観：その場・その時にしか見れない工事現場の空間や景色など
- ⑦その他：現場で誇れるもの、現場見学会の状況など

3. 応募資格者

関東地方整備局（事務所発注も含む）が発注で、契約履行期間中の河川工事（河川・ダム・砂防）現場に従事している方（元請け、下請けなどの現場従事者）。

4. 応募方法

- ・応募する本人が撮影した写真とします。
- ・写真は四つ切りサイズでの応募とし、縦・横の指定はありません。裏面に「応募作品記入事項」を記載・貼付けし、応募ください。また、合わせて電子データ（JPGとPDFまたはDW）も提出ください。
- ・応募は、各工事現場毎に1作品までとし、出張所（監督部署）等に提出ください。

5. 募集期間

令和2年2月10日（月）まで

6. 賞

応募作品は、各事務所等毎に選定し、優秀な作品に賞を授与（1作品程度）します。また、応募頂いた全作品から、関東地方整備局河川部においても優秀な作品の選定を行いますが、こちらは賞の授与はありません。

7. 作品の帰属

応募頂いた作品は返却いたしません。また、応募作品の使用権は関東地方整備局に帰属とします。帰属された作品は河川工事の広報に活用します。

8. 注意事項

- ・応募作品に工事記録用の黒板は不要です。また、写真は日付けが入らない写真としてください。
- ・他のコンテスト等に応募した作品との重複応募は不可とします。
- ・応募作品に人物の被写体が入る場合には、本人の承諾を得た上で、応募してください。
- ・応募作品について、第三者との紛争が生じた場合は、応募者の責任において解決することとします。
- ・写真撮影に際しては、安全に十分ご注意ください。

9. 応募作品記入事項

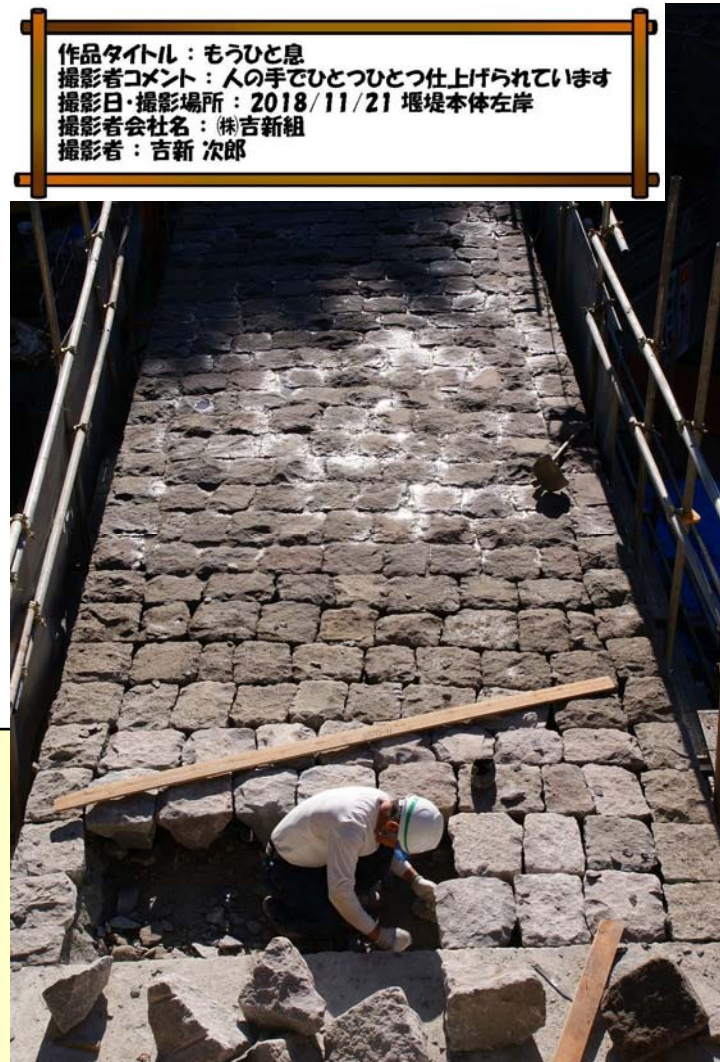
技術者が見た河川工事（河川・ダム・砂防）の写真	
タイトル	_____
コメント	_____
撮影場所	_____
撮影日	平成 年 月 日（ 時頃）
撮影者	男・女 年齢 才
《連絡先等》	
工事名	_____
会社名	_____
電話	_____

昨年度 河川工事（河川・ダム・砂防）“ナマ”現場写真コンテストの状況

参考



作品タイトル：未来の担い手は個性派ぞろい
撮影者コメント：色どりのヘルメットに注目して下さい
撮影日・撮影場所：2019/2/22 荒川右岸17.5km付近
撮影者会社名：中原建設株式会社
撮影者：浦 菜人



作品タイトル：もうひと息
撮影者コメント：人の手でひとつひとつ仕上げられています
撮影日・撮影場所：2018/11/21 堰堤本体左岸
撮影者会社名：(株)吉新組
撮影者：吉新 次郎

●令和元年8月2日、河川部取りまとめカレンダーに掲載した写真の会社に声をかけ、座談会形式で、ご意見・ご感想を聞いてみました。

【応募者からの声】

- Q.写真撮影の現場はどのような現場でしたか？
- A) 川裏にはURのハートアイランドがあって、川側には階段が、TVの撮影も行われた様な所。《左上写真》
- A) 世界遺産地域での工事で、世界遺産との調和も踏まえた石積みの工法を取り入れた工事だった。《右写真》
- Q.写真撮影に至った経緯などあったら？
- A) 若い技術者に色々な角度の写真を撮ってと現場で指導をしている中の1枚。工事完成に向けたまとめ、ダイジェストをまとめるために撮影した中の1枚。
- Q.この様な取り組みは？
- A) 山の中の工事で、一般の方に見て貰うこともなかったが、動画もありますよ（笑）。仕事の励みにもなります。若手採用のPR材料に。安全意識の再認識も・・・。

【応募の写真、河川部カレンダー】続きは・・・、

関東地方整備局のホームページ、<http://www.ktr.mlit.go.jp/river/chiiki/index00000008.html>に掲載。